

2024年

第26回

総会議案書

開催日時：2024年5月26日（日）10:00～12:00

開催場所：長房ふれあい館・創作室

特定非営利活動法人


市民ユニットりぼん

たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症（注1）は321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思えます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。

そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思えます。

1993年4月

注1) 2004年に厚生労働省より差別的だとして公募により「認知症」に用語が統一された

NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする

市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
 - 第1号議案 2023年度活動・事業報告及び収支決算の件
 - I. 2023年度活動・事業報告
 - II. 2023年度収支決算報告
 - III. 2023年度監査報告
 - 第2号議案 2024年度方針案及び事業計画案
及び収支予算案の件
 - I. 2024年度方針案
 - II. 2024年度活動・事業計画案
 - III. 2024年度収支予算案
 - 第3号議案 職員代表選出の件
 - 第4号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会

目 次

第1号議案

2023年度活動・事業報告及び収支決算の件

- I. 2023年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2023年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- II. 2023年度収支決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- III. 2023年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第2号議案

2024年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- I. 2024年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- II. 2024年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2024年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- III. 2024年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第3号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第4号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

【資料】組織図

第1号議案 2023年度活動・事業報告、及び収支決算の件

I. 2023年度活動・事業報告

- ◆ 定款に沿った活動を行いました。

会員活動	
目標	総括
地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、引き続き感染に注意しながら、結びの会の開催、救急救命講習会を行うことが出来ました。
① 地域活動	
地域の交流の場としてひだまりの家やみんなの居場所カフェりぼんを提供していきます	“ひだまりの家”の空き曜日にリコーダークラブの活動の場所の提供、よさこいソーラングループの会議場所の提供が出来ました。“みんなの居場所カフェりぼん”は、絵手紙のグループの利用がありました。
障害者就労支援体験の場を提供します	機会がありませんでした。
広報活動を推進します	「おはなしりぼん」の発行は出来ませんでした。 「ホームページ更新」は各部門の利用者アンケートなど、随時行いました。
出前介護講習	出前という形ではありませんでしたが、ケア時に、介護方法等を伝え、一緒に行い、支援する事が出来ました。
在宅心身障害者緊急一時保護登録支援	新規の登録者、利用はありませんでした。
“結びの会” & カフェりぼんワゴンコンサートを年一回広く地域にむけて開催	10月15日に開催。アコーディオン演奏&よさこいソーランを楽しみました。出演者含め33名の参加がありましたが、利用者さんの参加はありませんでした。
まちづくり市民運動・政策提言	生活クラブ運動グループ八王子地域協議会と連携が取れました。
② 法人内活動	
ひだまりの家支援 庭作りボランティア	・定期的に庭の草むしりや枝の剪定、野菜苗の植え付け、管理など、1年を通して活動出来、ご利用者の方々に庭を楽しんでいただけました。

登録ボランティア	・感染症に配慮しながら、定期的に楽器演奏会が開催できました。また傾聴等を通し交流が深まりました。
みんなの居場所“カフェりぼん”支援	開所時のお当番ボランティアのコーディネートが出来ました。庭の枝、草刈りを定期的に行い、地域の方々が気持ちよく利用できるよう環境整備を行いました。
救急救命講習会	1月21日(日)参加者13名。八王子消防署の救急隊員3名の指導により心肺蘇生・AEDの使い方を一人一人実践で学びました。
会員交流会	出来ませんでした。
定例会の開催方法を検討します	定例会の開催については検討出来ませんでした。毎月発行の“りぼんニュース”で法人の様子をメンバーに発信できました。

法人事務局	
	総括
	・法人の円滑な運営のための取り組みました。
セキュリティ管理 個人情報保護	・情報セキュリティ委員会を随時開催しました。
各種規程の設定と研修	・「虐待防止対応規程」「虐待防止委員会規程」「身体拘束適正化規程」 ・「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」 ・「特定処遇改善金支給規程」「処遇改善支援補助金等支給規程」 各規程書を配布し、メンバー全員に読み合せを行いました。
安全衛生管理	・新型コロナウイルスの令和5年5月8日以降、5類感染症の移行に伴いマニュアルを更新し部門連携を取り対処できました。 ・東京都集中的検査で抗原検査を週2回実施しました。 ・インフルエンザワクチンの予防接種を推進しました。 ・業務車両の安全な運転に必要な業務を行うものとして安全運転管理者を選任、管理者研修を受講しました。安全運転管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックの義務化に伴い、チェックを行い記録を促しました。 ・介護職員の腰痛予防のためのストレッチ体操などのチラシをメンバーに配布しました。

	<p>・従業員健康状況報告</p> <table border="1"> <tr> <td>労災申請</td> <td>勤務制限必要者</td> <td>休業必要者</td> <td>出勤停止者</td> <td>復職者</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </table>	労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者	0	0	0	6人	6人
労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者							
0	0	0	6人	6人							
労務管理	<p>・職員の勤務時間の管理、就業規則、所定労働時間の遵守に努めました。</p> <p>・職員の健康を維持するため、年1回の定期健康診断受診を促進し、9割の職員が受診し、健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。</p>										
法人会員管理	<p>正会員数 35名 (3月31日現在)</p> <p>賛助会員 2名</p>										
会議報告	<p>理事会 2回開催 理事運営会議 14回開催</p> <p>安全衛生委員会 2回開催</p> <p>ハラスメント防止委員会 1回開催</p> <p>虐待防止委員会 1回開催</p> <p>感染症予防委員会 1回開催</p>										

総務	
	<p>総括</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の業務について職員間の業務共有化の推進・定着を図りました。 (小口現金精算、なんでも隊利用料請求、ひだまりの家利用料金請求、処遇改善金等の加算金支給額計算) ・ひだまりの小口現金対応はスムーズに定着することが出来ました。 ・介護職員処遇改善支援補助金、福祉・介護職員処遇改善特定交付金、ベースアップ加算、物価高騰緊急対策支援金(3種類)の申請を行いました。 ・ひだまりの家LED照明への切替について検討しました。

2023 年度事業報告

介護サービスりぼん																											
目標			総括																								
事業	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「年々体力が落ちる」「夏の暑さが厳しく、体調を整え予定通りケア対応することが大変だった」との振り返りの意見があった。 ・介護保険以外は月平均の目標を下回る実績だった。 ・平均すると毎月 1 件程度新規を受けることが出来たが、入院等も毎月 1~2 件程度あり目標を下回る結果となった。 ・短期間で密に入る週末期ケアが数件あり対応できた。 																								
介護	250	263																									
予防	50	46																									
障害	180	168																									
自費	20	15																									
合計	500	491																									
(単位時間/月)																											
従業員数			<ul style="list-style-type: none"> ・12月に1名の入職があった。 ・非常勤職員は現状維持の働き方を希望する者が多く、それぞれが思うように働けたとの評価だった。 ・常勤職員は新規利用者や状況変化の激しい利用者のケアにあたることができた。事務所の連絡ノートやメールを活用し急な変更などにも対応することができた。 ・職員の勤続年数やスキルアップの状況をふまえ来年度変更になる処遇改善加算は昇給の仕組み等を整備し、より上の加算を申請していくとした。その昇給の仕組みにより常勤職員は全員がサービス提供責任者として職務に当たる。ご利用者、ケアマネジャー、非常勤職員としっかりコミュニケーションをとり、より良いケア提供に努めたい。 																								
常勤 4名																											
登録ヘルパー 8名																											
本人が安心して介助を受けられるような介護技術の獲得			<ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴だけでなくメンバーと顔を合わせての研修も実施できた。が、顔を合わせての研修は複数回開催することが困難でケア調整がうまくできず受講できないメンバーも出てしまった。 																								
責任ある労働の提供			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡の体制は構築できた。 ・緊急時の対応はりぼん手帳にあるものを各自読むことで習得するとしたが、実際に対応することはなかなか無いため不安を感じる職員もいる。訓練や研修を法人と連携し行っていきたい。 																								
地域社会活動			<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護初心者への訪問指導は無かった。 																								
苦情・事故・ひやりハット			苦情：0件 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>破損</th> <th>ケア忘れ</th> <th>ケアミス生活</th> <th>ケアミス身体</th> <th>遅刻など</th> <th>物品持ち帰り</th> <th>私物忘れ</th> <th>手配ミス</th> <th>ひやりはット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>							破損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはット	0件	2件	4件	0件	3件	0件	1件	0件	0件
破損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはット																			
0件	2件	4件	0件	3件	0件	1件	0件	0件																			

ケアプランサービスりぼん	
目標	総括
事業実績 介護 958 件 予防 325 件 認定調査 511 件	<ul style="list-style-type: none"> ・目標件数より 5 件程度達成することが出来なかった。原因として認知症の症状進行し、働きながらの介護負担など介護者の負担感があり施設入所を選択するケースが複数あったこと。入退院のケースが増えたことがあげられる
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤 2 名 非常勤 2 名の従業員でケアマネジメントを行った。 ・新規従業員の募集継続しているが入職者はいなかった。 ・2 名の従業員が介護支援専門員更新研修を終了し引き続き業務を継続する体制を整えた
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中立公正な立場で利用者のニーズにあった情報提供、支援を行うことが出来た。特に今年度は施設入所を希望する利用者が多く複数の施設の情報提供を行った。又、通所利用を希望するケースも多くニーズにあった通所施設の情報提供を行った ・利用者の強み、利点を生かしたケアマネジメントに着目し支援を行うことが出来た
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に留意し、モニタリング訪問、介護サービス事業所との連携等行うことが出来た ・利用者の要望などを受け止め緊急性を持って対応することが出来た ・八王子市介護支援専門員連絡協議会主催研修、法人研修等に参加しスキルアップすることが出来た ・虐待の通報が必要なケースはなかったが予防の意識を持ってモニタリングが出来た
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・法人と協働で「結びの会りぼん」の開催を行った ・「みんなでつなごう元八のわ」プロジェクトに参加し、地域の利点や不足していること、あったらいいなと思うサービスなど話あうことが出来た
苦情 事故・ひやりハット	<ul style="list-style-type: none"> ・ありませんでした。

ひだまりの家		
目標	総括	
2023年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から少しずつ利用者数が増えてきて、今年度は目標を大きく上回ることができたが、施設入所者やショートステイの利用頻度は大幅に増えてきている傾向にある。 ・令和3年12月からスタートした土曜日は、働けるスタッフも限られている状況がある中、利用者の数も定着してきている。 ・老朽化した洗面台やトイレ内のカーテンを交換し施設設備の充実が図れた。 	
介護目標		介護実績
8.5人/日		11.5人/日
予防目標		予防実績
1.5人/日	1.3人/日	
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・8月にパート看護師1名入職、2月にパート介護員1名入職あり 職員は、常勤職員1名、週32時間の準常勤職員2名（1名は1月から） パート職員は、介護員4名、看護師3名、調理員3名、運転手1名 	
サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等にすることができ、サービス機関との連携を図ることができた。 ・苦情事故ひやりハットを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 ・利用者アンケートを実施し結果内容を職員間で共有し質の向上に努めた ・全体の研修は実施できたが、職種別研修の充実が図れなかった。 ・職員個々の自己点検を行い、職員間で共有しあい日々の質の向上に繋げることができた。 	
栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応や、個別の対応が多くなる中、職員間で連携を図り対応することができた。 ・材料費の高騰の中、生協での注文と買い出しを行い、食材や調理法を工夫し提供できた。 	
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、手洗い・消毒・マスク・換気・検温を徹底し、全員に理解してもらえるよう日々の声かけの仕方などを工夫した。飲食時は、密を避けた席の配置を整え、アクリル板を使用し感染予防に努めることができた。職員は感染防止のため、一人ずつ昼食を摂ることができた。 	
災害対策及び施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・地震及び火災を想定し訓練を行うことができた。地域の防災訓練に参加することはできたが、地域と連携した訓練は実施できなかった ・消防士を呼んで行う、救急救命講習会を実施できた。 	
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を9月と3月に実施し、地域の方の声を聞くことができた。 ・包括支援センター主催の地域会議に出席し地域の方との交流が持てた。 ・引き続き、ボランティアや職場体験の中学生の受け入れが実施できた。 ・地域の方との交流会は、実施できなかった。 	
苦情 事故・ひやりハット	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情なし ・事故ひやりハットは、それぞれ会議で共有し対策を検討できた。 	

みんなの居場所カフェりぼん			
目標		総括	
270,000 円		実績 283,876 円 八王子市ふれあい・いきいきサロンの見守り加算(80,000 円)を申請しサロン参加者(スタッフ含む)同志の見守り活動を実施した	
		年間活動日数	年間参加人数
		232日	1,306人
		年間スタッフ人数	290人
従業員数 登録ボラ 10名		月～金 12:30～16:00	
目的に沿った活動		① 参加者に喫茶の提供を行った ② 毎月1回の折り紙講習会、木目込み、健康マージャン等開催し、参加者が楽しむことが出来た。 映画鑑賞会は計画していたが開催できなかった。 ・ラジオ体操を随時行った。 ・ワコインコンサートは6月“アイリッシュハーブ演奏会”、 12月“落語” 3月“人形劇”が開催できて楽しんでいただけた。 ③ 11月5日(日)元八王子市民センターまつりに合わせて、居場所で手作り品のバザー、酒饅頭の販売を行い、日ごろ立ち寄ることのない親子連れなどが立ち寄った。 ④ 参加者同士、自主的に歌集を手に声を出して歌い、楽しい時間を過ごすことが出来た。 ⑤ 夏休み、年末年始休み以外開所することが出来た ⑥ 9月30日(土)に諏訪団地秋祭りに参加した。子供向けの祭りとのことだったので、カフェりぼんはアランパットンさんのアコーディオン演奏で参加し楽しんでいただいた。 ⑦ 「みんなでつなごう元八のわ」プロジェクト活動報告会参加し、いいなと思うサービス等参加者の活発な意見が出された。	
助成金		八王子市一般予防サロン活動支援事業「常設サロン」支援金 412,000 円(見守り加算 80,000 円を含む)受給	

II. 2023 年度收支決算報告

III. 2023 年度監查報告

第2号議案 2024年度方針及び事業計画(案)及び収支予算の件

I. 2024年度方針

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・メンバーひとりひとりの協力のもと経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 地域に根ざした法人を目指す

1993年「老いても、障がいをもって、当たり前暮らし続けることが出来るまちづくり」を目指して「たすけあいワーカーズりぼん」が誕生し今年で31年となります。

任意団体の「たすけあいワーカーズりぼん」から「NPO法人市民ユニトリぼん」へと名称を変え、私たちが任意団体として活動してきた一部は公的な介護保険サービス、障害福祉サービスとして確立し経営的にも安定してきました。

介護保険制度が施行され3年ごとに改正が行われて、今年はその改正の年となります。

この改正では「生産性の向上」すなわちIT化を図り人材不足であっても効率よく働くことが出来、ひとりひとりに負担なく事業継続をというものです。私たちのような小規模な法人には厳しい内容であり次回制度改正までにどのように事業を継続していくか真剣に考えていく必要があります。

公的サービス提供者である私たちは、今まで培ってきた力を発揮し、地域に根ざした活動をしたいという思いを持ち続けた結果が「みんなの居場所カフェりぼん」の開所でした。コロナ禍以後、活動は縮小されてはいますが、ボランティアの力を借りて継続しています。

社会情勢、家族、利用者の環境は年々変化し求めているものも多様化してきている今、地域のニーズに敏感になり地域に根ざした活動をしていきたいと思えます。

りぼん設立当初から常に困難な局面には全員で意見を出し合い解決してきました。

私たちにはその力があると信じます。

新しい福祉の拠点として活動を広げていくためにみんなで意見を出し合い考えていきましょう。

住み慣れた地域で共に暮らせる共生のまち、いつでも手の届くところにいる「市民ユニトリぼん」であり続けるために飛躍しましょう。

■サービス提供体制の充実を図り、サービスの質の向上を目指します

○「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。

○各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。

○苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止を徹底します。

○安全衛生委員会、虐待防止委員会、ハラスメント防止委員会、感染症予防対策委員会、事業継続計画検討委員会を随時開催します。

○BCP(事業継続計画)のマニュアルをもとに訓練、研修等を行いサービスの継続を図ります。

○すべての職種に共通した研修(虐待防止、ハラスメント防止、感染症予防等)を実施し、各種職種別研修の参加を推進します。

○法人全体で個人情報保護に取り組んでいきます。

○介護サービス情報の開示を実施します。

○職員の健康に配慮し、責任あるサービスの提供に努めます。

■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

○地域を知って地域のニーズをひろいます。

○公的なサービスでは解決出来ないサービスを作ります。

○会員数を増やしていきます。

○スタッフも、地域の人も、誰もが楽しく集える場所を作ります。

○地域の顔が見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

II. 2024年度活動・事業計画

会員活動

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

①地域活動

- ✧ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カフェりぼん」を提供していきます。
- ✧ 障害者就労体験の場を提供します。
- ✧ 広報活動を推進します。
 - ◎広報紙「おはなしりぼん」の発行
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ✧ 出前介護講習
在宅介護初心者のお宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ✧ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録を推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ✧ 従来の「結びの会」の開催は行わず、利用者・地域の方々・職員の交流を考えていきます。
- ✧ 市民運動・政策提言
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ✧ 他団体と共に地域福祉の向上及び地域包括システム(ネットワーク)の活動を行います。

②法人内活動

- ✧ ひだまりの家の支援を行います。
 - ◎庭作りボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ✧ みんなの居場所カフェりぼんの支援を行います。
 - ◎開所時のお当番ボランティア
 - ◎庭の草むしりや、環境整備のボランティア
- ✧ 救急救命講習を実施します。
- ✧ 会員交流会を実施します。

法人事務局・総務	
法人事務局	方針
<p>法人活動が停滞しないように会議を工夫したり、りぼんニュース、部門の会議やニュースなどに発信していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。 ・法人の円滑な運営の充実を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 1、個人情報保護に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催します。 2、安全衛生管理に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の基本を守ります。 ・安全衛生委員会を随時開催します。 ・従業員の勤務時間の管理の徹底を継続。また、働き方改革の労基法を順守します。 ・従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します 3、各種規程の周知のための職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します 4、安全運転管理者の指導のもと交通安全と運転者の運転前後のアルコールチェック実施します。 5、BCP（事業継続計画）のマニュアルをもとに推進を図ります。 	
総務	方針
<p>○職員間の職務内容の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフト、会計ソフトの操作 ・通所小口現金の会計処理 ・なんでも隊、介護ソフトと連携して請求書作成まで ・通所 国保連簡易ソフトと連携して請求書作成まで ・処遇改善金の職員別支給額の計算 	

事業計画

介護サービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護保険介護給付事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（なんでも隊）
目標件数	<p>介護保険 260 時間 予防 50 時間 障害 180 時間 自費 20 時間</p> <hr/> <p>合計 510 時間</p> <p>*初級サ責・・・新任。年度中に担当利用者を5件持つことを目標とする *中級サ責・・・自費コーディネーターを務めた者。年度中にサ責として担当利用者を7件持つことを目標とする *上級サ責・・・サ責を務めていた2名で26件ずつ担当を持っている。年度内に22件ずつまで減らす。初、中級サ責の補佐を行う。 事業所全体としては4件程度利用者数を増やすことを目標とする。 *は今年度より導入した「資格や経験に応じた昇給の仕組み」によるもの</p>
従業員数	常勤4名 登録ヘルパー 8名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援 ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得 ・ 責任ある労働の提供
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回の健康診断を推進します。 ・ 毎月1回の常勤職員業務会議を実施し情報の共有を図ります。非常勤職員には業務ニュースとして配信。それぞれが情報を適切に得て安心して業務対応できる環境を作ります。 ・ 法人と連携し研修計画をたて、参加を推進します。
地域社会活動	在宅介護初心者の自宅に出向き介護方法等の講習を行い介護者の支援を行います。

ケアプランサービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護支援 予防委託支援 認定調査
目標件数	介護 87件 (管理者 24件 常勤 31件 非常勤 22件 非常勤 10件) 予防 28件 (管理者 8件 常勤 9件 非常勤 6件 非常勤 5件) 認定調査 40件
従業員数	管理者 1名 常勤 1名 非常勤 2名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中立公正な立場で利用者のニーズにあった情報提供を行い利用者、家族が自ら選択出来る様支援をしていきます。 ・他職種と連携することで支援内容の共有化を図り利用者が自立した生活が出来る様支援します。 ・年1回従業員の健康診断を実施し健康な身体と精神で業務を遂行していきます。 ・感染症予防マニュアルに則って研修に参加し予防に努めます。 ・年2回の研修、訓練に参加し非常時にも継続してサービス提供が出来る様努めていきます。
サービス質の向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズにあったフォーマル、インフォーマルサポートの情報提供を行い持てる力、望む生活の支援を行います。 ・疾病、障害や家族構成等、それぞれ違った環境にあっても安心して暮らせる様、地域やサービス事業所、関係機関と連携を図り支援します。 ・事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を防止していきます。 ・積極的に研修に参加しスキルアップを目指します。 ・月1回、事業所内ミーティングを開催し情報共有を図り、問い合わせ等の相談に答えることが出来るよう努めていきます。
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「元八みんなのわ」プロジェクトに参加し地域のインフォーマルサポートや不足しているサービスについて共に考えていきます。

ひだまりの家	
目標	方針
事業内容	地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業・延長利用自費サービス
目標件数	・要介護 11.5 人/日 要支援 1.5 人/日
従業員数	・常勤職員 1 名 (40 時間/週) 準常勤職員 2 名 (32 時間/週) ・非常勤職員 1 2 名 (介護員 5 名、看護師 3 名、調理員 3 名、運転手 1 名)
事業運営方針	・小規模を生かし、家庭的な施設を目指します。 ・利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
サービスの質の向上	・プログラム活動の充実を図り、本人及び介護者の支援をします。 (年間行事・月間プログラム・手作り制作・おやつ作り・近隣外出・・・等) ・ケアマネジャーとの連携を図り状態変化等の報告を迅速にします。 ・利用者アンケートを実施し、サービスの満足度や要望の確認をします。 ・ひやりハットを見落とさずに報告し、会議等で対策を検討し、再発防止に努めます。 ・職員の連携を図り、サービスが充実できるように努めます。 ・各職種に関わる研修を受講し、サービスの質の向上を図ります。
栄養管理	・季節の素材を取り入れ、バランスの良い献立で提供します。 ・お誕生日御膳や行事に合わせたメニューを取り入れ、食の楽しさを提供します。 ・個別対応及び病態による対応を適時します。
安全衛生管理	・感染症を理解し、手洗いなどの感染症対策を徹底します。 ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
災害対策及び施設管理	・避難訓練を利用者と共に実施します。 ・日々の整理整頓を心がけ、危機管理に努めます。
地域社会活動	・運営推進会議を年 2 回開催し、日々の活動状況報告や、災害時及び感染症予防対策、虐待防止対策などを共有していきます。 ・地域のイベントへの参加や協力を通し、連携を図ります。 ・防災の意識を高め、地域の方と訓練を共有するように努めます。 ・他団体との交流を深め、学生やボランティアの受け入れを積極的に行います。

みんなの居場所カフェりぼん

目標	方針
286,000 円	八王子市のサロン助成金を申請 320,000 円 月～金 13:00～16:00 の開所
<p>活動内容</p> <p>目的に沿った活動</p>	<p>【目的】</p> <p>1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。</p> <p>2、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として、居場所を開放し特技を生かしてもらいます。</p> <p>3、地域の方々や職員の交流の場、特技を生かす場として活用します。</p> <p>喫茶</p> <p>映画鑑賞会</p> <p>握力計を使っての自己健康観察（1／月 参加時）</p> <p>ワンコインコンサートの開催(年3回 7月、12月、3月)</p> <p>絵手紙（1／月 金曜日）</p> <p>木目込み（1／月 木曜日）</p> <p>健康マーじゃん（2／月 水曜日）</p> <p>手作り講習会</p> <p>バザー&健康相談(年2回 6月、11月)</p> <p>ラジオ体操、サークルへの場所貸しは随時</p> <p>*気軽に立ち寄れる居場所として企画を考えて行きます。</p> <p>*多世代が楽しめる企画を催すことで利用者層の拡大を図ります。</p> <p>*他団体（サロン、居場所など）との交流を行っていきます。</p> <p>*ボラテア、スタッフで地域、利用者の見守り活動を行い、高齢者あんしん相談センターと連携して介護重症化を予防していきます。</p>

Ⅲ. 2024年度収支予算 (案)							
							(単位：円)
I 経常収益	収益事業				本来事業	総務 ・ 共通	総合計
	居宅部門	通所部門	ホームヘルプ部門	収益事業計	居場所		
事業収益	17,263,200	27,840,000	24,756,000	69,859,200	286,000		70,145,200
正会員受取会費						105,000	105,000
賛助会員受取会費						10,000	10,000
受取助成金					320,000		320,000
経常収益計	17,263,200	27,840,000	24,756,000	69,859,200	606,000	115,000	70,580,200
Ⅱ. 経常費用							
1. 事業費				2. 管理費			
(1) 人件費]							
給料手当	11,722,500	14,860,000	12,570,900	39,153,400		5,704,000	44,857,400
処遇改善金		1,908,000	3,996,000	5,904,000			5,904,000
法定福利費	1,100,000	1,650,000	2,420,000	5,170,000		120,000	5,290,000
福利厚生費	30,000	40,000	42,000	112,000		15,000	127,000
労働保険料						600,000	600,000
人件費関連計	12,852,500	18,458,000	19,028,900	50,339,400		6,439,000	56,778,400
(2) その他経費							
通勤費	201,600	370,800	201,600	774,000		298,400	1,072,400
ケア交通費	290,000		660,000	950,000			950,000
車両借上げ手当	180,000		240,000	420,000		60,000	480,000
ガソリン代	150,000	390,000	520,000	1,060,000		36,000	1,096,000
材料費		1,300,000		1,300,000	30,000		1,330,000
消耗品費		250,000	35,000	285,000	10,000	120,000	415,000
備品・施設維持費		200,000		200,000	40,000	60,000	300,000
保守料		100,000		100,000		100,000	200,000
水道光熱費		500,000		500,000	70,000	200,000	770,000
通信費	180,000	110,000	22,000	312,000	20,000	280,000	612,000
印刷代		140,000		140,000		120,000	260,000
研修費				0		30,000	30,000
新聞図書費				0			
諸会費		10,100	9,500	19,600	4,800	20,500	44,900
支払手数料				0		64,000	64,000
会議費				0		100,000	100,000
会員活動費				0		100,000	100,000
広報費				0		10,000	10,000
保険料(ひだまり号)		136,440		136,440		200,000	336,440
火災保険料				0	27,000	52,440	79,440
保険料(賠償など)				0		34,000	34,000
支払報酬		53,000		53,000	64,000	132,000	249,000
減価償却費	336,336	354,882	421,080	1,112,298		185,805	1,298,103
地代家賃・駐車代	162,000	1,911,912	162,000	2,235,912	306,000	1,311,180	3,853,092
租税公課		46,700		46,700	25,400	10,000	82,100
雑費・交際費		3,000		3,000	3,000	10,000	16,000
経常費用計	14,352,436	24,334,834	21,300,080	59,987,350	600,200	9,973,325	70,560,875
期経常増減額	2,910,764	3,505,166	3,455,920	9,871,850	5,800	-9,858,325	19,325

第3号議案 職員代表選出の件

宮島 昌子 (任期2024.6.1～2025.5.31)

第4号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 20,000円とする。

ただし、別途職員としての業務に対し給与等を
支給することを妨げない。

